

# 原田 悠

Harada Yu

第三中学校3年 はらだ ゆう/  
1994年4月16日。15歳。  
目標とする選手 上野由岐子

一球一球に思いを込めて



## 優

勝までの3日間6試合をすべて一人で投げ抜き、そのうちの3試合は完封勝利。失点はわずか3点。投球数は489球。北京オリンピックで2日間3試合、413球を投げ抜き、日本の金メダルに大きく貢献した上野由岐子選手と比較してもひけをとらない活躍で広島県選抜を初の全国制覇に導いた15歳の原田悠さん。「優勝が決まったとき、自然と涙があふれてきました。周りを見てみるとみんな泣いていました」と振り返ります。

勝までの3日間6試合をすべて一人で投げ抜き、そのうちの3試合は完封勝利。失点はわずか3点。投球数は489球。北京オリンピックで2日間3試合、413球を投げ抜き、日本の金メダルに大きく貢献した上野由岐子選手と比較してもひけをとらない活躍で広島県選抜を初の全国制覇に導いた15歳の原田悠さん。「優勝が決まったとき、自然と涙があふれてきました。周りを見てみるとみんな泣いていました」と振り返ります。

弟がやっていたから。何気なく始めたソフトボールは、今では生活の一部となり、それなしの生活は考えられないといいます。

そんな原田さんも、中学校に進学するとき、ソフトボールを続けるかどうか悩んだそうです。市内の中学校でソフトボール部があるのは、第三中学校だけ。小学校の仲間は第二中学校に進学する中、ソフトボールを続けることを決め、第三中学校に進学しました。

原田さんは、昨年3月に行われた都道府県対抗の全国大会に県選抜として出場。しかし、投手としての出

場は、昨年3月に行われた都道府県対抗の全国大会に県選抜として出場。しかし、投手としての出

場は、昨年3月に行われた都道府県対抗の全国大会に県選抜として出場。しかし、投手としての出

場は、昨年3月に行われた都道府県対抗の全国大会に県選抜として出場。しかし、投手としての出

場は、昨年3月に行われた都道府県対抗の全国大会に県選抜として出場。しかし、投手としての出

第5回都道府県対抗全日本中学生ソフトボール大会 優勝  
平成21年3月28日～30日 三重県

1回戦	香川県選抜 1-9 広島県選抜	準々決勝	広島県選抜 3-1 和歌山県選抜
2回戦	広島県選抜 1-0 大阪府選抜	準決勝	京都府選抜 0-2 広島県選抜
3回戦	静岡県選抜 0-4 広島県選抜	決勝	栃木県選抜 1-2 広島県選抜